



ARIHHP SCIENCE WEEK 2017

ARIHHP

ヒューマン・ハイ・ パフォーマンス フォーラム 2017 —意欲とパフォーマンス—

2017-03-08 (水)

09:00-17:00

筑波大学 体育芸術エリア 5C棟 216大講義室

参加申し込み:

ARIHHP事務局

体育系URA 小倉かさね

ogura.kasane.gp@u.tsukuba.ac.jp

参加無料

University of Tsukuba



University of Tsukuba



ARIHHP



SRIP
Sports Research Innovation Project



HUMAN HIGH PERFORMANCE



TIAS
Tsukuba International Academy for Sport Studies



Sports
Neurosciences
GSN

基調講演-1 09:05-09:40



「低酸素環境下における
持久力向上のためのトレーニング」

荻田 太

体育学部スポーツ生命科学系 教授 鹿屋体育大学



基調講演-4 14:20-14:55



「運動の気分改善効果」

永松 俊哉

(公財) 明治安田厚生事業団
体力医学研究所 所長

基調講演-2 12:50-13:25



「最先端MRSを用いた栄養・
コンディショニング: ヒト筋
グリコーゲンのモニタリング法」

高橋 英幸

スポーツ科学部 国立スポーツ科学センター
主任研究員



基調講演-5 14:55-15:30



「行動を支える覚醒制御における
オレキシンの機能」

櫻井 武

筑波大学
医学医療系/国際統合睡眠医科学研究機構 教授



基調講演-3 13:25-14:00



「就労者における座りすぎの
健康・労働影響とその対策」

岡浩 一郎

スポーツ科学学術院 教授 早稲田大学



パネルディスカッション 15:50-16:50

- 1 提言「高強度インターバル運動から学ぶ意欲とパフォーマンス」
征矢 英昭 筑波大学体育系ARIHHPセンター長
スポーツ研究イノベーション拠点 (SRIP) プロジェクト責任者
- 2 討論テーマ “意欲とパフォーマンス”
パネリスト: 基調講演登壇者の先生方
モデレーター: 征矢 英昭/松井 崇

ヒューマン・ハイ・パフォーマンス Collaborative Research シンポジウム

09:40-10:55

- 1 「クロール泳における下肢動作の利用が抵抗力に及ぼす影響とは? —様々な速度でのスイム泳とプル泳の比較—」
成田 健造 筑波大学大学院博士後期課程3年 高木 英樹 筑波大学体育系 教授
- 2 「寒冷環境における運動パフォーマンス低下とその要因」
若林 斉 北海道大学大学院工学研究院 准教授
- 3 「低圧低酸素下での有酸素能力低下と呼吸応答」
小川 剛司 大阪教育大学教育学部 保健体育講座 講師
- 4 「パフォーマンス発揮における注意集中と瞳孔径の変動に関する研究」
國部 雅大 筑波大学体育系 助教
- 5 「運動はエストロゲン低下を伴う女性の認知機能を高めうるか」
荒井 サブリナ 筑波大学体育系 研究員

ランチ & ポスターセッション (5C棟 220) 11:00-12:50